



イベント 終了しました

【特別展関連イベント】鼎談 林忠彦の写真にみる文士たちの生き様

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>9月26日（金）～11月25日（火）に開催される日比谷図書文化館特別展「林忠彦写真展－日本の作家109人の顔」関連イベント。</p> <p>戦後の激動の時代を生き「作家」とはどういう存在だったのか、林忠彦はそれをどう切り撮っていったのかについて、林忠彦や作家の坂口安吾、檀一雄のご子息たちが語る公開鼎談。</p> <p>※千代田区民の方は住所が確認できるものをお持ちください。</p>
日にち	2014年11月04日（火） 19:00から20:30
日にち説明	当日の受付開始 18:30～
場所	地下1階 コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館

定員	200名（申込順）
参加費用	1000円（千代田区民500円）
講師・出演者	坂口綱男・檀太郎・林義勝
プロフィール	<p>■坂口 綱男（さかぐち つなお） 日本のカメラマン、エッセイスト、日本写真家協会会員</p> <p>フリーのカメラマンとして、コマーシャルフォト、ポートレートなどの分野で活躍。写真分野で執筆、講演など行うとともに、母・三千代の没後は、父安吾に関する執筆も行う。2006年に安吾ミュージアムを立ち上げる。</p> <p>■檀 太郎（だん たろう） エッセイスト、CMディレクター</p> <p>大手化粧品会社のCMの手伝いをきっかけに大手広告代理店に入社、1987年に独立して企画会社「エンジンフィルム」を設立した。CMディレクターだけでなく、父の遺志を継ぎグルメ・旅に関するエッセイを、多く執筆し講演活動もしている。</p> <p>■林 義勝（はやし よしかつ） 日本の写真家、日本写真家協会会員、林忠彦作品研究室代表</p> <p>人物写真撮影でのデビューを機に、エディトリアル分野で活躍。歌舞伎・能楽などの「伝統芸能」の写真や、文学・風土などの「歴史」を背景に織り込んだ、テーマ写真を得意とし、写真集・雑誌執筆などで活躍中。</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2014年08月20日 10:00 から2014年11月04日 19:00
申込方法	電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館(1階受付)いずれかにて、①講座名(または講演会)、②お名前(よみがな)③電話番号をご連絡ください。
関連リンク	特別展のお知らせ 特別展「林忠彦写真展—日本の作家109人の顔」

カレンダー表示

イベント開催日

休館日

2014年 11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

発信日

2014.08.20

 印刷

リストに追加

ツイート